

# 地域の自立・活性化や国民生活に 欠かすことの出来ない主な取り組み

救急病院へ行く  
生活道路の整備

深刻な渋滞対策

開かずの踏切  
などの解消

交通事故の対策

学童の通学路整備

道路の維持や除雪、  
古い橋の修繕

主要な都市間を結ぶ  
国の基幹となる  
ネットワークの整備

バリアフリーの整備

無電柱化



# 救急病院へ行く生活道路の整備

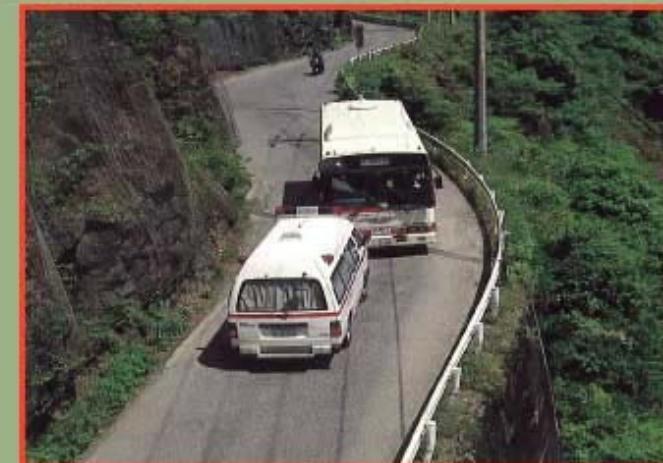
救急搬送に時間がかかり、都会では守れる生命も救えません。

(奈良県十津川村の例)

## ○救急搬送状況及び搬送時間



## ○救急車のすれ違いに支障



## ○搬送時間は救命救急に直結

- ・心停止 3分
  - ・呼吸停止 10分
  - ・出血多量 30分
- で死亡率50%以上となる  
(H18救急年報報告より)

※十津川村資料を元に作成

# 学童の通学路整備

次世代を担う子どもたちのために  
安全・安心な歩行空間を確保します。

○通学中に悲惨な事故が発生

京丹後 登校中、トラック突っ込む

## 2中学生はねられ死亡

12日午前7時45分、京丹後市久美浜町野中(国道31号)で、自転車に乗っていた14歳の男(さ)子が、対向して走ったトラックにはねられた。2人は近くの病院に運ばれたが、頭などを撞打しており、約2時間後に死んでいた。トランクは大阪府東大阪市の運送会社の車両で、午前7時半頃、東側の国道を西へ向かっていたところ、対向車線を走っていたトランクが中央線を越えて、京丹後警察が、運転手(22歳)を現場に連れてきた。京丹後警察が、自動車運転失致死致傷罪で調べている。亡った人は陸上部の朝練習に参加するため、登校途中に運転手は郵便物を運送中、「地図を見ながら運転している」と話している。



○学童が危険な通学路で登校



(朝日新聞 平成19年10月12日夕刊掲載)

# 開かずの踏切などの解消

「開かずの踏切」は全国に約600箇所、  
「交通が集中する踏切」は全国に約800箇所  
くるまや人を遮断し、街を分断しています。

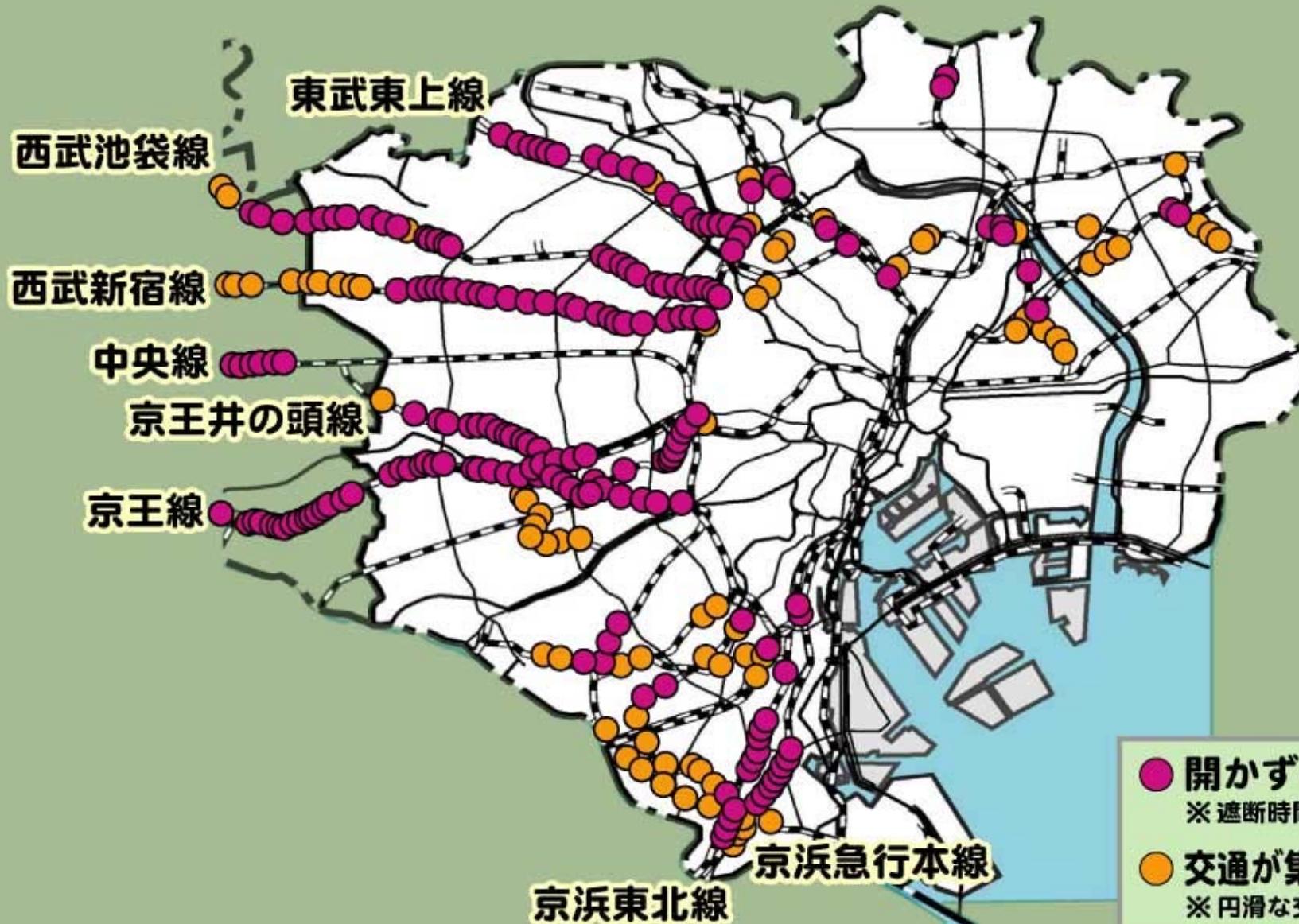
○救急車が通れない



開かずの踏切とは遮断時間が40分／時以上となる踏切で  
都内では1日に10時間程度、閉まっています。

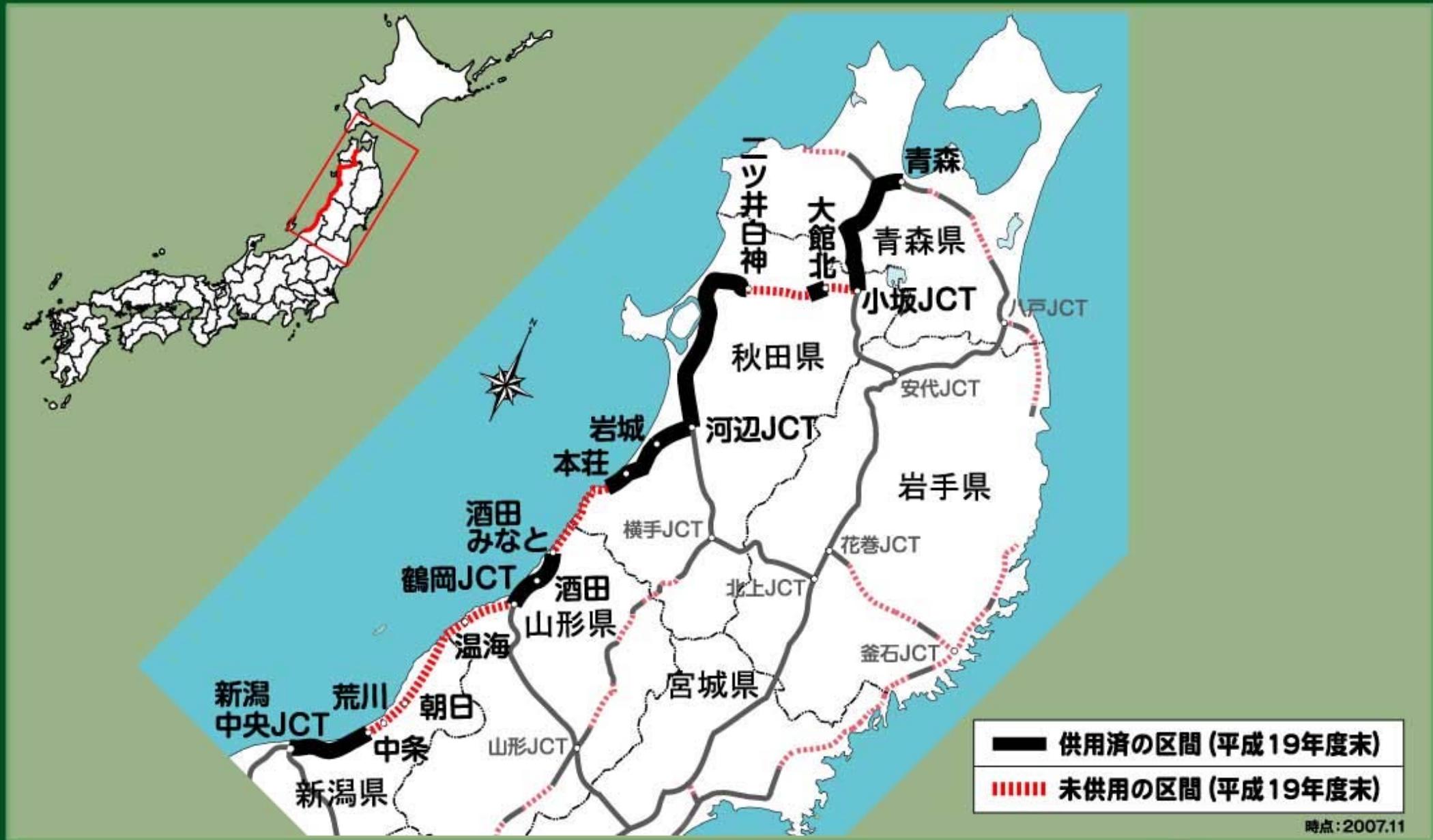
※電車の運行本数が多い時間帯を対象

# 東京23区内の開かずの踏切などの現状



- 開かずの踏切 [約230箇所]  
※遮断時間が40分／時以上となる踏切
- 交通が集中する踏切 [約80箇所]  
※円滑な交通に支障が生じている踏切

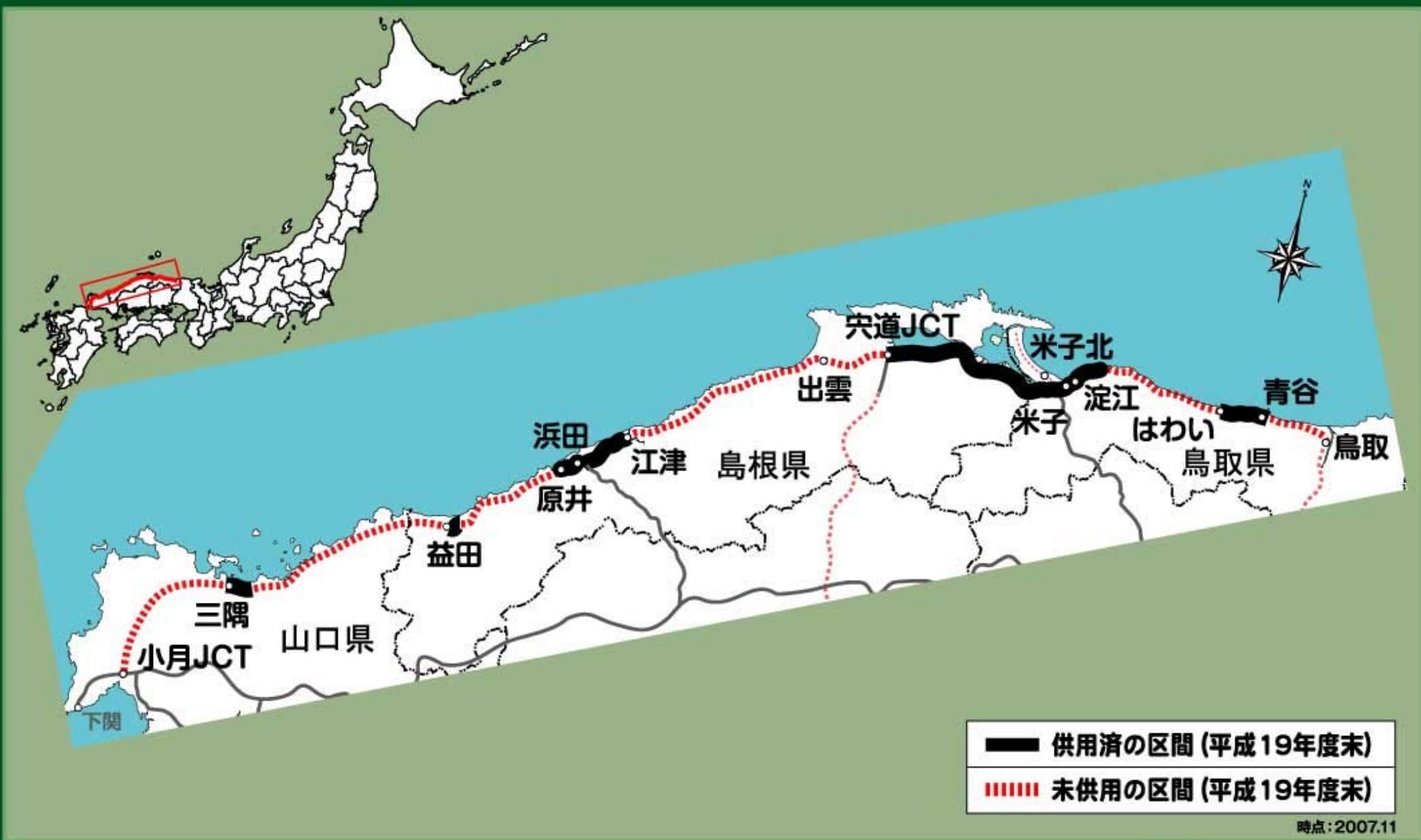
# 日本海沿岸東北自動車道



# 近畿自動車道 紀勢線(和歌山～多気)



# 山陰自動車道



# 東九州自動車道

